

ノ ー ト

大野正夫： ケープタウン沿岸の海藻採集ノート Masao OHNO: The collecting note of seaweeds on the coast of Cape Peninsula, South Africa.

筆者は、16次南極地域観測隊々員として“ふじ”に乗船し、帰路南ア連邦のケープタウンに1975年3月7日より15日まで寄港した。ケープタウンは日本の南極観測が始って以来寄港してきたところなので、南極に行った藻類研究者の何人かは訪れている。ケープタウンには、親日家の生物学研究者が幾人かおり、毎回生物関係の観測隊員は観迎を受けている。海藻関係では、ケープタウン市の Sea Point にある国立の Sea Fisheries Branch の所長である R.H. SIMONS 氏がいる。この研究所は南ア連邦の代表的な水産関係の研究機関であり、20数人の研究スタッフがおりプランクトン、貝類、魚類などの部門がある。このなかで所長を海藻学者が占めているのに興味を持たれた。彼はケープタウン大学にも研究室をもっており、研究は主に大学で行なっているそうである。彼の専攻は分類学方面であり、目下ケープタウン周辺海藻の Monograph をまとめており原稿をみせてもらったが、ほぼ完成しており近く研究所の報告として発表するとのことである。特に紅藻の分類に興味があるが、南アには研究者が少ないので、生態から増殖まで手がけなければならないと言っており、日本の海藻の増養殖にも強い関心を持っていた。ケープタウン大学の研究室には、彼の指導を受けている大学院生が二人おり、Mr. JARMAN は海藻の植物社会学をテーマにしており、Mr. DIECKMANN は、*Laminaria*



Fig. 1. Collecting snapshot on the coast of St. James False Bay. Mr. Jarman, Mr. Dieckmann, Director, Simons (Right).

群落の生理生態的なことをテーマにしていた。同じ研究室にいる三人が、かなりかけ離れたテーマを持っていることは面白く思えた。日本の研究室では同じようなテーマになりがちであるが、彼等はそういうことにはあまり気にかけていないようであった。

海藻採集は、連日テーブル・マウンティンおろしの風が強く、3月13日のわずか1日だけで、彼等3人と“ふじ”のダイバー3人ででかけた。

ケープタウン沿岸は、Fig. 2. に示すように Agulhas current (暖流) と、Benguela current (寒流) がぶつかる場所であり、航路としてもひとつの難所になっている。海藻分布の面でも興味の引かれるところであり、古く ETHEL. S. BARTON⁴⁾ が “Provisional List of the Marine Algae of the Cape of Good Hope” としてまとめている。岡村金太郎：“日本海藻誌”のなかで、いくつかの種の分布項に希望峰という記載があるが、これらはこの論文からとったと思われる。筆者は岡村文庫からコピーを得た。その後この沿岸は PAPENFUSS⁵⁾, STEPHENSON⁶⁾, SIMONS⁵⁾ などによって植生の報告がなされているが、日本にはあまり知られていない地域と思われる。

筆者達は、まず暖流が流れこんでいる St. James False Bay に行き、潮間帯の海藻を採集した。波があり採集日としては良くなかったが、Table 1. に示すように27種採集した。同定は、その場で行なったものもあるが、帰国後さらに標本を、SIMONS 氏に送り確認してもらった。St. James False Bay の潮間帯は、水温16°Cであり、*Gigartina* が最も多く繁茂しており、最上部に *Porphyra capensis* がみられた。*Ulva* や *Caulerpa* などの海藻が多く、一見して暖海の景観であったが、日本産の種と一致するものは、*Centroceras clavulatum* (トゲイギス) だけであった。寒天原藻の *Gelidium* 属も下部や Tide pool にかかなりみられたが、Fig. 3. に示すように日本産にはない *G. cartilagineum* であった。この海岸で茎が10mにもおよぶ *Ecklonia maxima* の打上げをみたが、*Ecklonia* 群落は、半島をまわった寒流域のほうが大きく、干潮時には陸上からも波間に帯状にひろがっているのがわかる大群落が観察された。これだけあれば、アルギン酸原藻資源として有望であると思ったが、ケープタウンではまだ採取は行なわれていないようである。

寒流域の採集地点は、この *Ecklonia* 群落地帯の Oude Kraal 海岸で行なった。水温は11°Cであった。潜水した日本人のメンバーは、*Ecklonia* 群落の中に入ると、長さ2~5mの茎があまりにも密生しており、驚怖感を感じた。

またアワビ、イセエビの仲間が豊富なことにも驚いた。この地域で採集した種は Table 2. に示す25種であった。筆者は、*Aeodes orbitosa* が潮間帯下部にかかなり多く繁茂しており、今まで日本でこの仲間をみていなかったの、強く印象に残っている。*Laminaria pallida* もこの地域に繁茂していると言われたが採集はされなかった。採集された種で日本産と同種のものは、この地域でもなかった。また採集を行なったこの2つの地点で、共通した種はわずか4種であった。採集の方法が少し異なつたが、距離

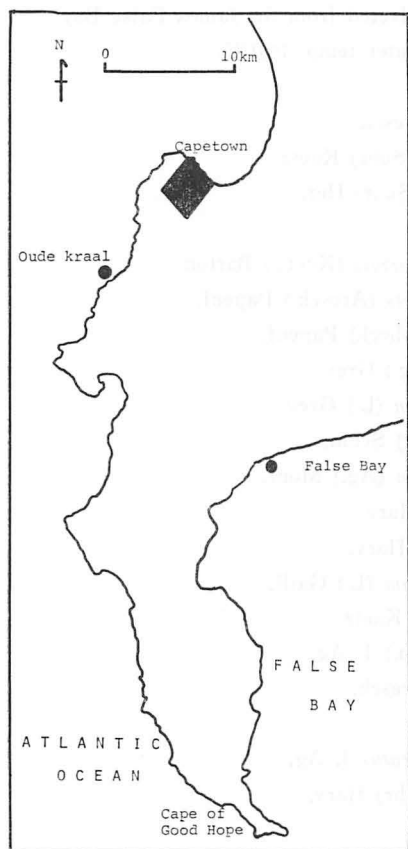


Fig. 2. The map showing observational station in Cape peninsula.

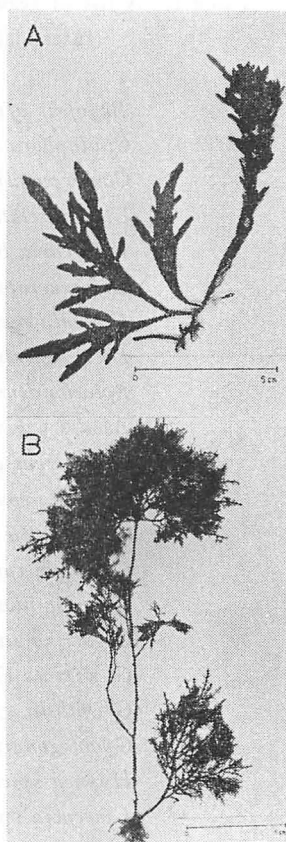


Fig. 3. A. *Gigartina stiriata* (Turn.) Aresch.
B. *Gelidium cartilagineum* (L.) Gaill.

的には半島を隔てたわずか 20 km のところで、2 地点は寒流と暖流の影響の差が良く表われていた。

今迄に南ア連邦・ケープタウン付近の標本は日本にあまり入っていないと思われる。今回 SIMONS 氏によって同定された標本が、乾燥標本、液漬標本として筆者のところにあるので、必要な方々に便宜をはかりたく思う。またケープタウンには、目下 3 人の上記の海藻研究者がいるが、日本の研究者との交流を望んでいるので住所を下記に記す。

Seaweed Research Laboratory, Sea Fisheries Branch, Beach Road, Sea Point
8060, South Africa.

Table 1. A list of seaweeds collected from St. James False Bay
(Intertidal zone, water temp. 16.0°C).

- Bryopsis africana* Aresch
Cladophora radiosa (Suhr) Kuetz.
Caulerpa filiformis (Suhr) Her.
Ulva fasciata Del.
Bifurcaria brassicaeformis (Kuetz.) Barton
Bifurcariopsis capensis (Aresch.) Papenf.
Ecklonia maxima (Osbeck) Papenf.
Dictyota intricata (Ag.) Grev.
Splachnidium rugosum (L.) Grev.
Aeodes orbitosa (Suhr) Schm.
Centroceras clavutatum (Ag.) Mont.
Champia compressa Harv.
Chylocladia capensis Harv.
Gelidium cartilagineum (L.) Gaill.
G. pristoides (Turn.) Kuetz.
Gigartina radula (Esp.) J. Ag.
G. stiriata (Turn.) Aresch.
Griffithsia sp.
Gymnogongrus glomeratus J. Ag.
Hypnea spicifera (Suhr) Harv.
Laurencia sp.
Plocamium corallorhiza (Turn.) Harv.
P. cornutum (Turn.) Harv.
Polysiphonia incompta Harv.
Porphyra capensis Kuetz.
Pterosiphonia cloiophylla (Ag.) Falkenb.
Tayloriella tenebrosa (Harv.) Kylin

本稿を草するにあたり，“ふじ”のダイバー杉谷繁喜，笠原夏生，宮垣勝行，またダイビングの許可をいただいた艦長森田衛の各氏に深く感謝いたします。

Table 2. A list of seaweeds collected from Oude Kraal, Cape province
(Intertidal and sublittoral zone, water temp. 11°C).

- Cladophora mirabilis* (Ag.) Rabenh.
Codium papenfussii Silva
C. stephensiae Dickinson
Axilariella constricta (J. Ag.) Silva
Ecklonia maxima (Osbeck) Papenf.
Aeodes orbitosa (Suhr) Schum.
Botryoglossum platycarpum (Turn.) Kuetz.
Carpoblepharsis flaccida (Turn.) Kuetz.
Carradoria virgata (Ag.) Kylin
Ceramium obsoletum Ag.
Chaetangium erinaceum (Turn.)²Papenf.
Champia compressa Harv.
Dicurella fragilis (Ag.) J. Ag.
D. scutellata (Her.) Papenf.
Gelidium cartilagineum (L.) Gaill.
Gigartina stiriata (Turn.) Aresch.
Heringia mirabilis (Ag.) J. Ag.
Hymenena venosa (L.) Krauss
Kallymenia schizophylla J. Ag.
Neuroglossum binderianum Kuetz.
Pachymenia carnosus (J. Ag.) J. Ag.
Plocamium maxillosum (Poiret) Lamour.
P. coccineum (Huds.) Lyngb.
Polyopes constrictus (Turn.) J. Ag.
Rhodymenia sp.

Summary

In this note is reported the seaweeds survey of the coast in Cape peninsula, South Africa. The field survey was carried out at two stations, showing in the map, on 13th of March, 1975. The warm Agulhas current brings warm

water to the coast of False Bay, while the cold Benguela current affects the flora along the west coast (Oude Kraal).

27 taxa including *Caulerpa filiformis*, *Porphyra capensis*, *Gelidium cartilagineum* and *Gigartina stiriata* were collected from intertidal zone of the coast at False Bay. The region of the coast at Oude Kraal was the *Ecklonia maxima* ground, were 26 taxa were collected from intertidal and sublittoral zone. These specimens are placed in our herbarium.

The author is thankful to The Director of Sea Fisheries Branch, South Africa, for providing all sorts of facilities for these surveys.

引用文献

- 1) BARTON, E.S. (1893) A provisional list of the marine algae of the Cape of Good Hope. J. Bot. **33**: 53-56, 81-84, 110-114, 138-144, 171-177, 202-205.
- 2) ——— (1896) Cape algae. J. Bot. **34**: 193-198, 458-461.
- 3) PAPENFUSS, G.F. (1940) Notes on South African marine algae. I. Bot. Notiser.
- 4) STEPHENSON, T. A. (1948) The constitution of the intertidal fauna and flora of South Africa. III. Ann. Natal. Mus. **11**, 2: 207-324.
- 5) SIMONS, R.H. (1970) Marine Algae from South Africa 1. six new species from the inter- and infra-tidal zone. Invest. Rep. Sea Fish. Brch. S. Afr. **88**: 1-13.

(高知大学宇佐臨海実験所)